

(敬称略)

▼熊野中学校

1年 渡部 晴加

【評】分割による構成の方法で、「春」を表現しています。配色には、桜のピンク色、暖かさを表す暖色の橙色などを使い、工夫をしています。平塗り、レタリングも丁寧です。



▼熊野中学校 3年 川城 仁美

【評】行書の流れを大事にして書いています。力強く勢いのある作品に仕上がりました。



熊野の自然 (174)

オオバヤシャブシ

(カバノキ科)



春、熊野の山で最も早く咲く花の一つです。3月中旬〜4月中旬、芽吹くと同時に咲き始めます。

雄花穂は冬の間、米俵型ですが、春には伸びて垂れ下がります。長さ4〜5cmになります。すうっとした香りがあります。

花粉を風に運ばせる風媒花です。花瓶に一枝挿しておいたら、台の上は花粉が積もって黄色になっていました。

他のヤシャブシ類と違って、雌花穂が雄花穂よりも枝先につきまします。長さは1cm位。赤い色が印象的です。小さなマツカサ型の果穂は、秋には黒褐色で長さ2〜2.5cmになり、2枚の翼がついた小さな果実がたくさん入っています。

漢字では「大葉夜叉五倍子」と書きます。「夜叉」は、果穂のごつごつした様子から、「五倍子」はヌルデの虫こぶ(五倍子)のようにタンニンを多く含むことから付きました。果穂は、古くから

染料になり、最近はリースの飾りにも使われています。

高さは5〜10m。葉は互生し、三角状卵形で長さは6〜12cmほど。縁は重鋸歯です。葉は晩秋、緑のまま落ちます。

関東南部から紀伊半島の海岸近くに分布します。町内の山でも多く見かけますが、県内のは自生ではなく植栽や二次的に広がったものです。

熊野など広い地域で、仲間のヒメヤシャブシと共に「ハゲシバリ」と呼ばれています。ハゲ山の砂防や緑化のために植林するからです。ヤシャブシの仲間がやせ地でもよく育つのは、空中窒素を固定する根粒菌と共生しているからです。

【写真文 富沢由美子】

町の人口と世帯数 (前年同月比較)

平成16年 1月31日 平成15年 1月31日
 26,278人...人口...26,269人
 12,806人... 男 ...12,829人
 13,472人... 女 ...13,440人
 9,920 ...世帯数... 9,783

熊野町の火災と救急 平成16年1月中

火災	1件
死者	0人
救急搬送	70件
救急搬送	63人

火災と救急の通報は119番

その他、消防の問合せ・相談はこちら
 海田地区消防署熊野出張所
 TEL854-1103

今月の題字



熊野高校2年生
 カタリーナ・マイヤーさん

※ドイツからの留学生カタリーナ・マイヤーさんについては、P14『この地に』をご覧ください。

表紙：熊野町学芸員 王海濱 題：『桃の節句』



「広報(まの)」は再生紙に「エコマーク」と「ソイシール」の認定を受けた環境にやさしい環境対応型インキを使用して印刷されています。